

# やさしい日本語で 伝えてみよう

「やさしい日本語」は、外国人はもちろん、小さな子どもや高齢者、障がいをもった人など、いろいろな人に配慮したコミュニケーションのひとつで、日常生活でも役立ちます。

シーン別に「やさしい日本語」に言い換えてみましょう！

## 窓口

番号札をお取りください

この番号の紙（カード）を取ってください

こちらにおかけください

ここに座ってください

## 学校

下校時間

子どもが家に帰るために学校を出る時間

弁当持参

昼ご飯（昼に食べる物）を持って行くこと

## 生活

被保険者証

保険に入っていることを証明する紙

滞納する

まだ払っていない

## 病院

この問診票にお書きください

これに書いてください

熱は測って来られましたか？

熱はありますか？

## 災害

運転を見合わせる

（電車、車は）来ない、動かない

〇〇川の水位が警戒水位を超えました

〇〇川で水がたくさん流れています  
今すぐ高いところへ逃げてください

元の日本語

やさしい日本語（例）

## 日常でよくみるカタカナ語をやさしい日本語にしてみましょう！

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ①ウォーキング →歩く       | ⑤レンタル →借りる         |
| ②ヘルシー →体に良い       | ⑥ファン →好き / 応援している  |
| ③ベジタリアン →野菜だけ食べる人 | ⑦バザー →家にあるものを売る    |
| ④セルフサービス →自分でする   | ⑧ダイエット →やせる / 細くなる |

### Question

「お大事にしてください」を、やさしい日本語にしてください。

Answer（答え）はこの6月号市報のどこかにあります！

担当

市民協働課 23-9122